

7月臨時教育委員会議事録

1 日 時 平成29年7月31日(月) 午前10時00分から午前10時19分

2 場 所 宗像市役所 本館3階 304会議室

3 出席委員 委員 宮司 葉子
委員 白石 喜久美
委員 石丸 哲史
委員 釜瀬 計
教育長 遠矢 修

4 その他の出席者 教育子ども部長瀧口健治、教育政策課長の野仁視、教育政策課学務係山本幸江、教育政策課政策係企画主査吉田宏枝、教育政策課政策係八木孝平

※傍聴 7人

5 議案

①議案第15号 平成30年度使用第3地区小学校教科用図書(道徳)の採択について

(資料1) 《承認》

【教育政策課長】平成30年度から使用する第3地区の小学校教科用図書の道徳を次の理由により採択したいので、宗像市教育委員会事務委任規則第2条第1項第11号の規定により、教育委員会に付議するものでございます。提案理由は道徳の教科化に伴い、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第5項の規定に基づき、平成30年度から使用する教科用図書の採択を行なう必要が生じたためでございます。

【遠矢教育長】私からは事務の流れについて説明いたします。小学校教科用図書の採択につきましては、先日開催された第3地区教科書採択協議会において、最終決定がなされました。教科用図書の採択とは学校で使用する教科書を決定することです。教科書採択は原則4年に一度、実施されますが、今回採択する教科書は、新しく教科化される道徳の教科書についてです。平成30年度から使用されることとなります。具体的な手続きといたしましては、5ページの「平成29年度小学校用教科図書(道徳)採択に係る業務の流れ」をご参照ください。組織でございますけれども、県の調査研究協議会と地区別採択協議会の2つの組織があり、調査研究協議会は福岡教育事務所管内の市町の教育委員と教員で構成されています。会議はC、D、E、F会議の4回実施され、そこで調査研究されたものが、宗像地区の採択協議会に具申されます。宗像市と福津市は第3地区ですが、採択協議会を立ち上げており、宗像市からは私と白石教育委員、福津市からは柴田教育長と藤井教育委員が委員になっております。採択協議会の下部組織といたしまして、調査研究を行ないます選定委員会があり、校長、教頭、教員、学識経験者、保護者代表で構成され、B、G、I会議が開催されております。また、調査研究協議会の具申を参考に、道徳の教科会議であるH会議を開き、福岡県教育委員会が示している

「平成30年度使用義務教育諸学校教科用図書採択基準及び選定資料」に基づきまして、3回ほど調査研究がなされております。最終的にJ会議で3社に絞ったものを答申として受け、3社の中から採択協議会の親会で1社に選定をしております。最終の選定結果は3ページを参照して下さい。選定結果については、東京書籍の「新しい道徳」が選定されました。選定の主な理由につきましては、『教材文の冒頭が単元名だけで教材文に浸れる。教材文に関する問いと自分自身を振り返る問いが記載され、考えを深めたり広げたりすることができやすい。いじめ問題を2つの教材文ユニットで取り上げているので、多面的に考えさせることができる。『出会う・ふれあう』ページでは、自分自身の生活を考えさせている。『つながる・広がる』ページでは、他教科との関連が述べられている。』ことが主な選定の理由でございます。また、6月13日～30日まで教科書の展示を行なっております。一般の方と学校関係者の閲覧者は宗像市役所で16名、河東小学校は0名、自由ヶ丘小学校は1名、福津市役所が21名、津屋崎小学校19名の計57名でございました。閲覧に伴う意見書が46通、提出されておりました。協議会に報告した上で選定を行なっております。また、宗像市および福津市の小学校に対して、意見をもとめておりましたが、提出はございませんでした。ここで、採択協議会で1社に選定いたしました理由を報告します。4ページの「平成30年度使用小学校教科用図書（道徳）一覧」に8社ございます。この中で8社のうち学校図書、日本文教出版、あかつきの3社が分冊です。残りの5社は1冊でございます。分冊は学んだことを書きこむノートですが、ノートを使用することで、どの単元も同じような進め方になり、授業の展開に工夫が必要になってまいります。また、教科書により、教科書本体の配列と分冊の配列が異なっているものもあり、子どもにとって少し使いづらいのではないかという意見がありました。また、2冊必要なので重さもありますし、2冊持つてくる必要がございますので、子どもによっては持参するのを忘れる可能性もあるとのことで、分冊ではなく1冊がいいだろうとなりました。残りの5社のうち、教材の見出しでございますけれども、これが長いものが2社ございました。教育出版と光文書院でございます。見出しが長いと考え方が縛られるのではないかということで、単元名と説明文が短い文章でまとめられ、シンプルな作りになっているものが教材に入っていくやすくだろうとなりました。光村図書について、見出しは短いのですが、教材文がかなり長くなっており、子どもが読むのに精いっぱいになるのではないかとの意見がございました。また、他社と比べ、字が小さいとの意見がありました。残りの2社、東京書籍と学研教育みらいでございますけれども、どちらも見出しは短く、子どもが教材に入っていくやすく、教材の最後に問いがございますけれども、問いの数も多くなく、子どもに様々な発想をさせることができる教科書ではないかという意見がありました。問いが多いとそれに沿った授業、パターン化された授業になるのではないかという意見がありました。内容についてはどちらも「いのちの教育」、「いじめの問題」、「情報モラル」などが記載されております。ただ、学研教育みらいは教科書が少し大きいA4判で見やすいのですが、道徳以外の教科書と比較して大きく、子どもにとって重たいのではないかという意見がございました。以上のことを総合的に勘案しまして、東京書籍の「新しい道徳」が選考されました。

【白石委員】 選定会議に参加させていただいて、教科書の重要性を痛切に感じる事ができました。また、各社のそれぞれの想いや重要ポイントがわかる教科書内容になっていて、選考委員になられた方は本当に迷われたことかと思えます。これから子どもたちがこの教科書

で道徳を学ぶと思うと大変楽しみであり、興味もあります。選考されなかった各社の教科書もとても素晴らしく本当にありがたく思っております。

【遠矢教育長】 相対的に見てどの教科書も大きな違いはなく、学習指導要領に沿った内容で一單元あたりの分量も適切で、やはり教師にとって使いやすい、子どもが教材文にすぐ浸れる、そして、パターン化された答えを導き出すのではなくて、子どもがいろいろな発想で考えを合わせながら、考えを出し合うところを重要視した教科用図書が選ばれたと思います。

【遠矢教育長】 その他、何か質問等ございますか。

【各委員】 特にありません。

【遠矢教育長】 議案第15号について承認いただける方は挙手をお願いします。

【各委員】 はい。(挙手)

【遠矢教育長】 全員賛成で議案第15号議案は承認されました。

【遠矢教育長】 次回開催予定日は、平成29年8月22日火曜日の午前10時から301会議室にて開催します。

平成 29 年 8 月 22 日

遠矢 修

釜瀬 計
